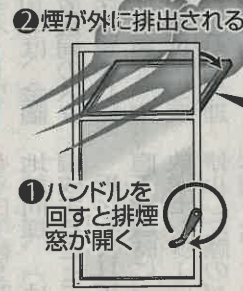


とっさの排煙避難助ける

宝塚市役所放火 職員機転、被害を抑制

兵庫県宝塚市役所が放火され、職員ら5人が負傷した事件で、現場になった1階の天井から壁に付着したすすの跡が、床から約2メートルの高さで止まっていることがわかった。天井が4・2メートルと比較的高いことに加え、出火直後に職員が排煙窓を開放したため、煙が足元まで充満することなく、重傷者を出す事態が避けられたとみられる。

1階の市税収納課では出火直後、激しい炎と大量の黒煙が上がった。鎮火後、市消防本部などが調べたところ、1階の天井などに大量のすすが付着していたが、壁の床に近い部分にはほとんど付いていなかった。



同市役所は、建築基準法に基づき、全ての窓の上部に縦30センチの排煙窓を設置。ハンドルを回すと外に倒れるように開き、天井付近に滞留した煙を屋外に逃がす仕組みになっている。

今回は出火直後、複数の職員が手分けして開けたという。同課の山添真澄さん(30)は「とっさに開けなければと考えた」と話す。

市消防本部によると、建物内には当時、来庁者約100人、職員約500人がおり、発生から約20分後に全員が屋外へ避難した。

00人、職員約500人がおり、発生から約20分後に全員が屋外へ避難した。

東京理科大学の菅原進一教授(建築防災学)は「排煙窓の開放で立ったまま素早く逃げられたのだろう。火勢が広がる中、職員の行動は評価できる」と話した。

きょう業務再開

宝塚市は15日、全ての業務を16日に再開すると発表した。12日の発生後、職員

は連休中も出勤し、被害が大きかった1階などの11部署を別室に移転。うち市税収納、市民税、資産税各課は3階大会議室で業務を始める。現場の下にある食堂は水浸しのため休業する。

パーキンソン病の異常たんぱく 一酸化窒素が分解のカギ

奈良県立大 奈良大 奈良大

パーキンソン病の原因たんぱく質を一酸化窒素(NO)によって活性化すること、神経細胞内にある異常なたんぱく質の分解を促進し、機能障害を防ぐと発表した。16日付の英科学誌「サイエンス・フィックス・リポート」(電子版)に論文が掲載される。

パーキンソン病は、手足の震えや筋肉の硬直などの症状が進行する難病。根本的な治療法はなく、国の特定疾患に指定されている。血管を弛緩させる働きのあるNOが発症に関係することとは知られていたが、どう関わるのかわからなかった。

研究グループの小澤健太郎・奈良県立大准教授(薬理学)によると、薬剤で異常を起した人の神経細胞にNOを加える実験を行ったところ、たんぱく質の分解が促進されたという。

研究グループの、田中利男(薬理ゲノミクス)と話し、

各地の気温と天気 15日

天気・湿度	最高	最低	湿度
最高は午前0時～午後3時、最低は午前午後9時	最高	最低	湿度
最高	最低	湿度	湿度
大阪	28.0	31.3	25.6
	28.0	31.3	25.6

第778回口ト6

(15日)	()は当選口数	本数
05	11	17

第3673回ナンバース

(15日)	()は当選口数	【ナンバース3】

パウエルも薬物陽性

ジャマイカほかに4選手



アサファ・パウエル選手 (AP)

グ検査で陽性反応を示したと報じた。

同日は、薬物検査で陽性反応を示した男子100メートルで世界歴代2位の9秒69のタイムを持つタイソン・ゲイ選手(30)(米)の世界選手権(8月、モスクワ)欠場が明らかになったばかりで、陸上短距離界を揺るがす事態となった。

また、USADA(米国反ドーピング機関)から禁止薬物検出の通知を受けたことを電話会見で明らかにしたゲイ選手も、「私は基本的に人々を信頼しているが、裏切られた」などと話し、筋肉増強剤などの使用

ーソン店員、アイス冷凍庫に入る

ネットに写真、解雇

コンビニ大手「ローソン」は15日、高知市の高知鴨部店の従業員が店内のアイスクリーム用冷凍庫の中に入ったとして、この従業員を解雇させ、同店とのフランチャイズ契約を解除することを決めたと発表した。同店は同日から休業している。

ローソンによると、従業員が冷凍庫に入った写真がウェブ上に掲載されているとの情報が寄せられ、確認したところ事実と判明したという。同社は食品を取り扱うものとしてあってはならない行為だと反省しているとのコメントを出した。

国道沿いにある高知鴨部店は、ドアに「お客様へのお詫び並びに休業のお知らせ」と記した貼り紙がされ、休業期間として15、31日の予定と告知。「当店舗の従業員において、ソーシャルメディア上に不適切な写真投稿がなされました。当店舗として、重大な問題と認識しており、該当